

## 第2回府中市食育推進計画推進評価協議会議事録

日時 平成24年10月16日(火)午後2:00~3:04

場所 府中市保健センター分館3階研修室

出席者 <委員>

上岡会長 堤副会長 石坂委員 大坪委員 逸見委員 谷中委員

<事務局>

健康推進課 松下課長 健康づくり担当 横道副主幹

健康推進課 福嶋係長

健康推進課 野勢主任 健康推進課 中村

健康推進課 中鉢

市民活動支援課 竹内係長 経済観光課 大木係長

高齢者支援課 山中主査 保育課 柴田所長

欠席者 <委員>

なし

<事務局>

健康推進課 鈴木課長補佐 健康推進課 荒木主任

生涯学習スポーツ課 市ノ川係長 学務保健課 後藤主任

### 《次第》

1 開会

2 協議事項

- (1) 府中市食についてのアンケート調査について
- (2) 健康ふちゅう21・市民アンケート調査結果について
- (3) 平成26年度までの協議会の検討事項について

3 その他

### 《資料一覧》

資料 1 府中市食についてのアンケート調査用紙および体力テスト

資料 2 府中市食育推進計画指標および目標値

資料 3 第2次食育推進基本計画(食育の推進に関する事項より)

参考資料 1 「健康」に関する市民アンケート調査

参考資料 2 平成24年度「健康」に関する市民アンケート調査 集計

### 《議事概要》

・事務局より委員変更案内

マインズ農業協同組合 澤田委員→石坂委員(澤田委員異動のため)

・事務局より資料確認

資料2訂正事項

府中市食育推進計画指標および目標値(策定~平成25年度まで)

→府中市食育推進計画指標および目標値（策定～平成26年度まで）

・傍聴希望者なし

## 1 健康推進課長挨拶

司会進行が事務局から会長・副会長へ移る。

## 2 協議事項

<会長>

平成26年度の完成年度にむけてアンケート調査をもとに評価をしていくこととなると思います。協議事項（1）府中市食についてのアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

資料1アンケート調査について説明させていただきます。資料1は現計画を策定する際に市民に対して行ったアンケート用紙です。資料2はそのアンケートをもとに設定した目標値であり、「府中市食育推進計画」にも掲載されています。

第2次食育推進計画を策定していくにあたり、食育がどの程度市民に浸透しているかを再度調査する必要があります。

アンケートについては、現計画を策定した際にとったアンケートと同じ項目を調査していく予定ですが、内容や質問項目等で気づいた点がありましたら、ご意見をいただきたいと思います。

<会長>

アンケート項目についての検討ですね、事務局はこの資料1と同じ用紙を使って調査を実施する予定ですか。

<事務局>

現行の食育推進計画の期間は平成26年度までとなっており、ちょうど見直しの期間が保健計画「健康ふちゅう21」と同時期になります。保健計画の中でも市民対象にアンケート調査を実施しますので、そのアンケートの中に資料1と同様の設問を入れて一緒に調査していく方法を考えています。

このアンケート用紙が参考資料1になりますので、ご覧ください。このアンケート項目は、健康ふちゅう21の学識経験者を含む協議会委員の皆さんに内容を精査していただいたものになります。

参考資料1をご覧ください。6ページに食事についての項目があります。問20～24に資料1の「食生活についてのアンケート調査」と同じ内容の項目を含めています。「健康」に関する市民アンケート調査は18歳以上の市民から無作為抽出した3,000名を対象に実施し、回答いただいた速報値を出しているところです。BMIについての設問は6ページの問18・19にあります。こちらの問18では、「BMIによる自分の標準体重を知っていますか」との問い方になっていますが、資料1の「食生活についてのアンケート調査」の7では、「BMIによる自分の適正体重を知っていますか」との問いになっています。少し言葉の表現方法が

異なっていますが、保健計画「健康ふちゅう21」の委員さんからの意見もあり、自分に適正な体重を維持するという意味では同じこととなりますので、このアンケートをとらせていただきました。何か委員さんからご意見があれば伺いたいと思います。

<会長>

いかがでしょうか。今年8月に市で実施したアンケート、参考資料1の間18～24が以前食育推進計画を策定するにあたり、食生活についてとったアンケート項目と大幅に変わっていないとは思いますが、いかがでしょうか。事務局に質問があればお願いします。

<事務局>

標準体重と適正体重の表記の違いについては、「健康ふちゅう21」の委員さんにもご意見をいただき、アンケートの流れから齟齬がないだろうと考えています。保健所の目線でも構わないということであれば、進めていきたいと思っています。

<会長>

大坪委員、いかがでしょうか。

<大坪委員>

標準体重と適正体重の件についてですが、一般の方の捉え方はそんなに変わらないと思います。

(他の委員からも了承)

<会長>

適正体重はBMIが基本になっているので、このままでよいと思います。

<事務局>

ありがとうございます。では、こちら(参考資料1「健康」に関する市民アンケート調査)を第2次食育推進計画を策定する際にも参考にしていきたいと思っています。

あともう1点、このアンケートに追加する項目について検討していただきたい点があります。

資料3をご覧ください。昨年度の協議会でも資料提示していますが、国が平成23年度～27年度までの5カ年計画で策定した第2次食育推進基本計画の抜粋になります。食育の推進の目標として、新たにこの4項目が設定されました。この新規項目について府中市の目標にも取り入れるほうがよいか、ご検討ください。

<会長>

第2次食育推進基本計画において、4項目が新しく目標に加わったということですが、いかがでしょうか。第1次でも取りあげられていたものもありますが、ニュアンスが変わってきているものもあります。

目標に入れるとすると、やはり調査を実施して現状値を把握して目標値を決めるということになりますが、事務局では入れる方向で考えていますか。

<事務局>

全く同じ質問方法ではなくても、似たようなデータが取れているところもあるので、それを生かしていきたいと考えています。

<会長>

例えばどのようなところでしょうか。

<事務局>

まず資料3の新規目標①朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加についてですが、これは参考資料1の6ページの間21「一日に一度は家族と一緒に食事を食べていますか」という問いに置き換えられるのではないかと考えています。

<会長>

共食ということでは、一緒に食べるということは同じですが、委員の皆さんはいかがでしょうか。現行の聞き方でよい、または国にそろえるなどのご意見もあるかと思えます。すでに市民アンケートとして実施しているものなので、このままの形で生かす形がよいのではと考えます。改めて調査を取る場合には対象者を誰にするかなど検討することもでてくるかと思えます。

<事務局>

「健康」に関する市民アンケート調査は来年度も実施しますので、委員さんの意向によっては来年度以降文言を修正することも可能になります。ご意見がありましたら、積極的にお願いします。

<谷中委員>

このままでよいと思います。「一日に一度は家族と一緒に食事を食べていますか」という聞き方のほうがわかりやすいと思います。朝や夕と限定するのではなく、家族構成によっては昼しか一緒に食べられないという人もいるかもしれません。共食をすすめていくという意味からもこのままでよいと思います。

<会長>

他はいかがでしょうか。

<副会長>

今のままでよいと思います。年代を見ると勤めていない人もいるし、食事は昼食もあります。

<会長>

それでは、このまま進めていくということでお願いします。

<事務局>

それでは、新規目標②内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実施している国民の割合の増加について（資料3）ですが、こちらは参考資料1の4ページの間12に同様の質問があります。5ページの間12-1では継続年数も聞いていますので、こちらのデータを参考にしたいと考えています。また、間16「あなたは、ふだん腹囲を意識して食生活の自己管理につながっていますか」も参考になると考えています。

<会長>

資料3の新規目標②に関するものですが、参考資料1の間12、12-1、16でおおまかな内容を含んでいるということですが、委員の皆さんはいかがでしょうか。

<谷中委員>

事務局案のほうがわかりやすく、よいと思います。

<会長>

事務局のアンケートの方が具体的に選択できる形になっていますので、こちらについても来年度継続して生かしていきたいと考えますがよろしいでしょうか。

(委員より了承)

では、こちらでお願いします。

<事務局>

ありがとうございます。続きまして新規目標③よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合の増加についてですが、こちらは参考資料1の8ページの問29に「食事はよく噛む(ひと口30回程度)ようにしていますか」という質問があります。こちらのデータを参考にしたいと考えています。

<会長>

よく噛むということがひと口30回程度と示されているので、できればこのまま生かしていきたいと考えますが、委員の皆さんはいかがでしょうか。

(委員了承)

第2次食育推進基本計画において、咀嚼については重点項目として取り上げられていますので、引き続きアンケートをとっていただきたいと思います。

<事務局>

ありがとうございます。続きまして新規目標④農林漁業体験を経験した国民の割合の増加についてですが、こちらは健康推進課では把握していません。委員の皆さんで何か情報をお持ちでしたら教えていただきたいと思います。

<会長>

こちらは、第2次食育推進基本計画から新たに入ってきた目標項目になります。今回の8月の調査ではアンケート項目に入っていませんでしたが、府中市で農林漁業体験というところのどのようなことができますか。石坂委員、いかがでしょうか。JAマインズで取り組まれている食農体験はありますか。

<石坂委員>

食育について小学校3、4年生を中心とした種植えから収穫までの体験を実施しています。今回の「健康」に関する市民アンケート調査にこの項目を入れていくということでしょうか。この項目を入れて、何を目的としたいのかわからないのですが。

<事務局>

農林漁業体験について、「健康」に関する市民アンケートのなかで設問項目を入れていくことはイメージしにくいと考えています。事務局である経済観光課や委員さんの立ち位置として参考数値がとれるところがあればいただきたいと思います。基本的にはこのアンケートの中に農林漁業体験の設問を入れていくことは想定していません。

<会長>

いかがでしょうか。成人の方の農林漁業体験というのは1年を通して難しい部分

があるかと思えます。「健康」に関する市民アンケートに入れる必要はないと思いますが、市として目標値に入れるべきか、また何か参考とする数値があれば、ご意見をいただきたいと思います。

<副会長>

国でとるアンケートの場合は農林漁業が盛んな地域もありますが、市で実施するには難しい部分があると思えます。

<石坂委員>

違ったアンケートではよいが、今回はアンケートには入れないということだと思います。

<会長>

事務局とも話しましたが、今回導入していくことは難しいと思えます。子どもたちの体験を増やしていくということでは、JAさんでも実施していることですし、各学校等で体験活動を増やしていけるとよいと思えますが、この件については事務局で検討していただければと思えます。

<事務局>

ご検討ありがとうございます。では、アンケート項目については検討いただいたものを入れていきたいと思えます。

<会長>

こちらの内容で来年度もアンケートを実施していただくことでよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

今年度はすでにアンケート調査が実施され、対象は18歳以上の方だったようですが、それよりも下の年齢についてはどのように調査を実施する予定ですか。

<事務局>

学童期、思春期については前回の調査と同様に小中学校の体力テストのデータが使えないか確認してみます。また都で類似の調査を実施していればそれを参考に用いてもよいと考えています。乳幼児期については前回と同様に健康推進課の事業や保育所でのアンケート調査が必要かと考えています。

また無作為抽出でのアンケートになりますので、参考資料2の「健康」に関する市民アンケート調査 集計の1の問2によると回答者の年齢層に多少ばらつきが出ていると思われます。このあたりの人数の補正が必要かご検討いただきたいと思います。

<会長>

参考資料2の1の問2をご覧くださいと、80歳以上、18、19歳で少ないというような印象を受けます。回答者の人数にばらつきはありますが、少ない年齢層に再度アンケート調査を実施したほうがよいかということですが、委員の皆さんはいかがでしょうか。こういった調査の場合、郵送調査ですとだいたい15～20%の回答率ですが、今回は3割強になっているので、回答率は高いと言えます。年齢のばらつきが多少出ることにはやむを得ないことかと思えます。今後追加で無作為抽出された200人に答えてもらうためには、その10倍以上の方に郵送調査をかけなくては回収できないと思えます。過去のデータと大きな齟齬がなければよい

のではないのでしょうか。高齢者の場合は7%回収できたことは大きいと考えられます。アンケート調査は同時期に実施しなくては意味がないと思いますので、このまま進めてよいと思いますが、いかがでしょうか。

<副会長>

無作為抽出とはどういうことですか。たとえば、18、19歳には300通、20～29歳には400通など対象人数を決めて実施した結果ですか。

<事務局>

府中市の人口比率から3,000に圧縮して何歳代が何人と出てきます。もともと18～20歳代は他の年齢層に比べてそもそも少ないため、送付数も少なくなっているという事実があります。

<石坂委員>

18、19歳、20歳代には何人に送付して何人から回収できたかというデータはとれていますか。

<事務局>

資料を用意しますので、お待ちください。

<会長>

それでは、追加調査についてはいかがでしょうか。人口比率での配布になっているので問題はないかと思いますが、後ほど事務局から数字については報告をお願いしたいと思います。

<事務局>

次の調査にあたっては、18歳未満について関係課と調整して乳幼児等のデータをとっていきたいと思います。

<事務局>

遅くなりましたが、先ほどのご質問について回答させていただきます。

配布数3,000名とするために、18、19歳は100名抽出、20～29歳で400名抽出、30～39歳と40～49歳で600名ずつ、50～59歳と60～69歳で400名ずつ、70歳以上でまとめて500名としました。

<会長>

石坂委員、よろしいでしょうか。

<石坂委員>

はい。

<会長>

18、19歳は100名に送付して30名から回答が得られていれば、30%の回答率になるので問題ないかと思いますが。

それでは追加的な調査については行わないということで、年齢のばらつきについては人口比率で適正に送付させていただいているということによりよろしいでしょうか。

(委員了承)

<事務局>

ご検討ありがとうございます。1については、以上になります。

<事務局>

では2つ目の協議事項について事務局より説明させていただきます。

<事務局>

市民アンケート調査の結果について説明させていただきます。本日お配りしました参考資料2をお手元にご用意ください。こちらが今年度実施した市民アンケート調査（参考資料1）の集計結果になります。

ページを開いていただき、ピンクのラインが引いてあるところが食育推進計画の策定時に行ったアンケート（資料1）と同じ項目になります。

この市民アンケート調査の結果はまだ細かな分析ができていませんが、資料2の目標値と比較していただくと傾向がわかりますので、少し説明させていただきます。

資料2の1「朝ごはんを欠食している人の割合」については、参考資料2の6ページの間20にあります。欠食をしている人の割合は合わせて17.1%でした。前回のアンケート調査結果については資料2の1現状値を参考にご覧ください。

資料2の2「1日に一度は家族と食事している人の割合」については、参考資料2の7ページの間21にあります。1日に一度は家族と食べている人の割合は62.3%でした。

資料2の3「食育について聞いたことがある人の割合」については、参考資料2の7ページの間23にあります。食育について聞いたことがある人の割合は75.1%でした。

資料2の4「食事バランスガイドについて知っている人の割合」については、参考資料2の7ページの間24にあります。食事バランスガイドについて知っている人の割合は38.5%でした。

資料2の5「BMIによる適正体重を知っている人の割合」については、参考資料2の6ページの間18にあります。文章が少し異なり、自分の適正体重について知っているかという質問になっていますが、知っている人の割合は44.7%でした。

資料2の6「BMIによる適正体重を維持している人の割合」については、参考資料2の6ページの間18-1にあります。こちらも適正体重が標準体重という言葉に変わっていますが、標準体重である人は18.5%でした。

こちらは速報値なので、年齢別の割合などは出ていませんが、大まかな傾向ということでお知らせさせていただきます。以上です。

<会長>

ありがとうございました。ライフステージごとのクロス集計等はこれからということですので、一応の傾向ということでよろしく申し上げます。

<事務局>

資料2の現状値と単純に比較すると、アンケートの対象について、前回は健康推進課の教室等にきた人、今回は無作為抽出した人であることを加味し、現状値が低くなりがちの予感がしています。来年度アンケートを送付する中で年度の比較をし、目標値の設定の仕方も考えていきたいと思っております。昨年度から関わっている委員さん等で何かご意見がありましたらお願いします。

<会長>

昨年度から関わっていない委員さんの中でも何かありましたら、積極的にご意見をお願いします。調査方法が違うので、簡単な比較はできないかと思います。同じ調査を行うということですが、このアンケートは毎年行うのでしょうか。

<事務局>

「健康」に関する市民アンケート調査において食育の項目を合わせてとるという背景で、健康ふちゅう21では、計画策定時に2年分のアンケートをとることになっています。平成24、25年でアンケートを実施し、平成26年度は計画の策定、その後評価、見直しをし、方向性を定めていきます。また、計画終了2～3年前になるとアンケートをとるという流れになります。

<会長>

理想的なのは、平成22年度に同じアンケート調査ができていれば、来年の調査で計画策定時と計画終了時の比較ができたと思います。今回は難しいかと思いますが、来年同じ調査をしても大きな変化が起こりにくいことが懸念されます。今年が中間年度になるのでそれを踏まえて平成26年度に向けて作っていくのか、そして26年度に調査を実施して5年後に再調査をしていくということでもよいのかと思いましたが、他の委員さんのご意見はいかがでしょうか。これだけの調査を実施するにはかなりの労力を要すると思います。

<事務局>

保健計画は国、都の見直しを受け、保健計画の評価委員会にて調査項目を検討していく流れになっています。来年度の協議会にもかけていく予定ですが、保健計画と食育推進計画の位置づけ、策定の盛り込み方についても皆さんの意見をいただきたいと考えています。各市食育の計画については、A3用紙表裏で終わっているものもあれば、府中市のように厚めの冊子で事業内容が細かく記載されているところもあります。アンケートのためのアンケートでなく、計画をどう着地させるか、どういった計画が府中市に適しているか、会長のご意見も参考にさせていただきながら、具体的なご意見を伺う機会を来年度の協議会で作っていきたいと思っています。保健所のほうで、各市の計画をご存じな目線で何かご意見があればお伺いしたいと思っています。

<大坪委員>

管内6市についてですが、それぞれ食育の計画を立てているところもあれば、他の計画と一緒にしている市もあります。府中市は食育の計画を立てただけでなく、イベント等で広く市民に周知している姿勢はよかったと思います。

<事務局>

市民の立場で、食育に限らず、様々な計画について何かご意見があればお願いします。

<谷中委員>

市民から見ると、自分の参考となる内容のものは気になりますが、次元が違う内容だと流されてしまいがちです。市民が興味をひく計画内容にしていくことが一番大切だと思います。

保健計画「健康ふちゅう21」のアンケートに食育の内容を入れ込むとわかりにくくなると思います。食育を主としたアンケート内容のほうが一般市民は答えやすいと思います。アンケートをとるからには1回で済むようにということで、いろいろな内容を聞くということはわかりますが、主婦の感覚でいうと健康も大事ですが、食に関する内容でまとめたアンケートの方が答えやすいと思います。計画は市民に浸透し、参加してもらい、成果をあげることが大切です。国で出されている計画は一般市民にはわかりにくい内容が多いので、先ほど出された事務局案のように具体的な内容でわかりやすいアンケートにしていくことが望ましいと思います。アンケートは関心がある人からは協力を得やすいですが、無作為抽出でアンケートをとっていくのであれば、よりわかりやすい内容のアンケートにしていく必要があります。

<会長>

逸見委員、いかがでしょうか。

<逸見委員>

健康まつりなどの市全体のイベントは府中公園等で行うことが多いが、府中市も東から西まで広く、府中市の中心部まで足を伸ばしにくい人も多いので、地域の文化センター等を利用して、広く市民にPRしていくとよいのではないかと思います。

<副会長>

「健康」に関する市民アンケート調査の最後に「ご意見・ご要望について」ということで、市民の生の声を聞いているところがありますが、ぜひまとめていただき、取り入れていただけるとよいと思います。

<会長>

事務局では今後まとめる予定はありますか。

<事務局>

健康ふちゅう21の協議会があります。ただいまアンケートの集計にかなり時間がかかっています。年末か来年の1月中に協議会を開催する予定ですので、その際にアンケートの集計結果を配付と同時に公開していく予定です。皆さんにもご覧いただけるようになると思います。

<会長>

ぜひよろしくをお願いします。それでは事務局にお返しします。

<事務局>

それでは計画の最終年度になる平成26年度までの協議会の検討事項について説明させていただきます。資料はございません。

平成25年度協議会については協議会を3回実施したいと考えています。

第1回目は今年度と同様に7月頃、食育事業の重点取組について報告及び検討として協議を行います。そして第2回目はアンケート調査の結果が出る10月以降に報告を踏まえて目標値の設定を行います。第3回目は府中市食育推進計画の素案について協議していただき、委員構成等についてのご意見を伺いたいと思います。

最終年度である平成26年度の回数は未定ですが、第1回目は同じく重点取組について協議、第2回目以降は食育推進計画の策定に向けて、検討部会を立ち上げ、協議していきたいと考えています。

<会長>

ありがとうございます。何かご質問等ありますか。

<事務局>

追加でご説明させていただきます。平成25、26年度と計画策定が迫ってきています。来年度のこの時期（10月頃）に来年度の結果や今年度の結果を踏まえた上で委員の皆さんに食育の計画の方向性について提示していきたいと考えています。来年度の7月に各事業の確認をしていただき、何か新たに盛り込むものがあれば、ご意見をいただけるとありがたいです。

<会長>

いかがでしょうか。なかなか急には出てこないかと思いますが、何かありましたら随時事務局までメール等でお知らせいただければと思います。今後第2次の計画を策定していくようになりますが、今期の反省を踏まえてやっていけるとよいと思います。副会長、何かありますか。

<副会長>

いいえ。特にありません。

<会長>

それでは、事務局へお返しします。

<事務局>

その他になりますが、今年度は今回をもちまして終了となります。

食育に関する情報提供をしていきたいと思います。市の財政についてですが、歳出を減らしていく方向で、効率的な運営をしていくよう、言われています。対象や実施回数の見直しが食育事業のみならず出てきています。市として効果的な食育の推進として、来年度以降協議いただければと思います。今年度はありがとうございました。

<会長>

事務局は、その他について追加はありますか。

<事務局>

ありません。

<会長>

それでは、第2回目の協議会を終了させていただきます。  
ありがとうございました。